

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	社会福祉施設産休等代替職員費補助金	開始 年 度	平成17年度
団 体 名	保育所等社会福祉施設		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市社会福祉施設産休等代替職員費補助金		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	社会福祉施設等に勤務する産休または病休職員の勤務を，臨時的に任用した代替職員に行わせるもの。
目 的	(目 的) 社会福祉施設等に勤務する産休または病休職員の母体の保護または専心療養の保証を図るため，施設の長が行う産休代替職員制度の実施に要する経費について交付する。
・ 効 果	(効 果) 産休または病休職員の勤務を，臨時的に任用した代替職員に行わせることによって，職員の母体の保護または専心療養の保証を図りつつ，施設における施設利用者の正常な実施体制を確保することができる。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		自己資金				計
		市	その他					
収	26	3,656		836				4,492
	27	4,867		2,078				6,945
	28	2,694		661				3,355
	29	1,900		502				2,402
入	30	2,064		825				2,889
支 出	年 度	人件費						計
	26	4,492						4,492
	27	6,945						6,945
	28	3,355						3,355
	29	2,402						2,402
	30	2,889						2,889

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	社会福祉施設産休等代替職員費補助金
----------------	-------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	本事業の対象となる児童福祉施設は保育所等の子育て支援の拠点として重要な役割を担う施設であり、保育サービスの充実が市民が強く求めるところである。代替職員を雇用することで利用者の処遇の正常な実施体制の確保を目的とする本事業は公益性があるものといえる。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	保育所等において、産休・病休職員に賃金等を支給しながら、別に代替職員を雇用することは大きな負担となるため、代替職員を速やかに配置するには市の補助が必要であると思われる。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	本補助金は保育所等において、職員の出産・病気という状況が発生した場合、その欠員を補充するために交付するものであり、施設に自主自立を求めるという点には合致しないと考える。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	代替職員を確保するにあたり、必要となるのは人件費であるため、補助金で補填することは本事業の目的実現のために有効であると考えられる。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☒	本事業は補助基準額と実支出額とを比較し、いずれか少ないほうの額に、代替職員が任用承認期間内で実際に勤務した日数を乗じて得るという算定方法をとっているため、その補助率は一定ではない。
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	社会福祉施設産休等代替職員費補助金
----------------	-------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

社会福祉施設で産休等を取得する職員がいた場合, 代替職員を速やかに配置し, 母体の保護や専心療養を図るとともに, 施設における利用者への正常な実施体制を確保することができる。

(達成状況)

平成28年度は9件(2,694千円), 平成29年度は5件(1,900千円), 平成30年度は5件(2,064千円)の補助を行っている。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価) 十分効果をあげている ☒ 一定の効果をあげている ☐ 効果が疑問である ☐ その他 ☐	(理由)
--	-------------

○今後の方向性

☒ 現行のまま補助を継続 ☐ 見直したうえで補助を継続 ☐ 廃止 ☐ その他	(見直しの内容) (見直しの時期)
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容) 補助基準日額等については, 道や他都市の動向を踏まえながら適宜見直したい。

○終期の設定

終期設定 令和 3 年度	☐ 終期到来により廃止 ☒ 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定) 令和 3 年度
----------------------------	---	------------------------------------